

主な内容

- 2面 医科歯科セミナー参加報告
- 3面 やる気をひきだす雇用管理
- 4面 診察室の窓から

香川県保険医協会会報

発行所
香川県保険医協会
 〒760-0057 高松市旅籠町14番地8
 TEL 087(802)1335
 FAX 087(802)1336
 e-mail:kkyoukai@kagawahik.com

発行人 **太田展生**
 定価200円(会員の購読料は会費に含まれています)

高松国税局と 四国ブロックが懇談

— 税務調査等の改善を求める —

去る10月29日、四国ブロック共同の高松国税局交



渉が行われました。今年で38回目です。今回は新型コロナウイルスの影響で感染対策のため、参加人数を縮小しての実施となりました。今回の要望書は2つの大項目とし、1つ目は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い施行されている、国税の「特例(特例猶予)」の感染収束までの制度施行の延期と制度の一層の周知・広報を行うこと。2つ目は、①カルテの提示・持ち帰り・コピーについて、②現況調査は行わないこと、③質問応答記録の作

成は行わないこと、④納税者を主権者として尊重し、国家公務員として日本国憲法を順守すること等、4つの小項目に分けました。納税猶予の特例延長については、要望は関係機関に伝える「の回答」に留まり、他の4項目の回答は従前と変わることはない内容でした。交渉での回答・質疑については、来春発行のブロック共同ニュースに掲載予定です。

待合室キャンペーン 「クイズで考える私たちの医療」 取組みに大反響!!

「クイズで考える私たちの医療」に取組んでいます。全国的な取組みとして病医院の待合室キャンペーンを



展開、大きな反響となっております。折からの高齢者窓口負担の1割から2割への拡大の報道とともに、協会へのクイズはがきの返送は、11月15日現在で既に800通を超えています。また、協力して頂いている医療機関、事業所、団体も約150カ所となっております。

3月8日がメドで、まだまだ期間があります。是非、医療機関の窓口等に置いて頂き、キャンペーンにご協力をお願いします。注文は事務局までご連絡ください。

主張

高齢者医療費の2割負担案は撤回すべきです

12月14日に、第12回全世代型社会保障検討会議が開

催され、「全世代型社会保障改革の方針」(以下、「方針」)を採択し、15日に閣議決定されました。マスメディアは、高齢者の医療費2割負担が決定したかのように報じていますが、国会で関連法案の成立が必要です。国

民的な運動で廃案に追い込みましょう。

「方針」では「菅内閣が目指す社会像は、「自助・共助・公助」そして「絆」まずは自分でやってみる「家族や地域で互いに支え合う」「最後は国が守ってくれる」としています。結局は、社会保障は「自己責任」だといっ

とになります。憲法25条に定め、社会保障における国の役割を否定するもので認める訳にはいきません。

「方針」の中心は、75歳以上の医療費窓口負担を1割から2割に2倍にすることです。厚労省案の一つは、対象が住民税課税対象の年収155万円、影響は約605万人(37%※)に及び、血も涙もないといいたくなる提案でした。最終的に本人課税所得28万円以上で本人収入200万円以上に落ち着いていますが、それでも影響は約370万人

(23%※)で対象の4分の1に及びます。

11月24日に開催された第11回全世代型社会保障検討会議に日本医師会が提出した資料によると、一人当たりの年間収入に対する患者一部負担の比率は、85歳以上では5.7%、80歳〜84歳では4.4%、75歳〜79歳では3.7%です。一人当たりの医療費の額は高齢化に伴い、急カーブで上昇します。1割負担から2割負担への引き上げは、高齢者の生活を直撃します。

住江保団連会長は、12月

10日談話で、「75歳以上の年収に占める患者負担額の比率は、40代の3倍以上」「高齢者の負担割合が1割で、現役世代の3分の1であっても、決して不公平ではない」と指摘しています。新型コロナ感染症に対する不安からすでに受診抑制は起こっています。

※現役並み区分を除いた後期高齢者人口に対する割合

日々雑感

12月21日は冬至です。冬至は北半球では1年のうちで最も昼が短く夜が長い日です。これは地球の地軸が太陽との公転面に対して23.4度傾斜しているため起こる現象です。この傾きが太陽の方に向いている時期は暑くなり昼が長く、太陽と逆に向いている時期は寒く昼が短くなるのです。冬至は日本の二十四節気のひとつでこの翌日から日が長くなる節目の日として古くから人々の暮らしに根付いています。冬至の風習としてゆず湯につかり、かぼちゃを食べることはいにしえの人の無病息災や太陽の恵みへの感謝の表れなのでしょう。冬至の風習は世界各国に見られ、中国では冬至に餃子を食へ、またゲルマン人の冬至祭、イランのミトラ教の冬至祭儀などがあるようです。今、世界中で「コロナ禍により多くの人が感染し、医療が逼迫し多くの方が亡くなっています。人々の暮らしも去年までと大きく異なり、様々な犠牲性と我慢が強いられています。ニュース報道も明るいものは少なく、物事の核心から外れた些末な事の追求ばかりが目立ちます。

「夜明け前が一番暗い」と言います。欧米では「コロナワクチンの接種が始まりました。また、各国でワクチン開発、臨床試験が進んでいます。このような制限された暮らしももう少しなのでしよう。足下は暗いのですがこの長いトンネルの先に少し明かりが見える気がします。明るいうつを信じて、今日という日を皆さん頑張りましょう。」

歯科セミナー

「GPのエンド(私の臨床)」に参加して

20年10月18日(日)高松シ
ティールホテルにて開催され



ました歯科セミナーに参加
いたしました。講師は高知
県開業の西岡政道先生、演
題は「GPのエンド(私の臨
床)でした。臨床でエンド
(根管治療)は歯医者の基本
といわれ、補綴処置の際基
礎工事となる大切な治療で
す。専門医でも対応に苦慮
する難症例もなかにはあり
ますが、基本的な要点を押
さえておけば大半は想定通
りの結果が得られるとい
うことです。

エンドはニッケルチタン
ファイルが開発されて、根管
拡大形成は飛躍的に様変わ
りし、消毒方法・薬剤は学生
時代に習った方法と今では
隔世の感があります。いか
に根管内を無菌的環境にし
るか、またそれを維持させ
ることができかが勝負で、
ラバーダム防湿の重要性を
再認識いたしました。
それに加えてコストを掛
けずエンドが楽になる方法
として、フレア形成(クラ

ウンダウンテックニックを含む
およびヒポクロによる徹
底洗浄最後にEDTAを使
用)を提示されました。
また一回治療と複数回治
療の結果に有意差はないが、
根充後の疼痛、フレアアップ
は一回法の方が多いのには実
感として感じています。そ
して歯内一歯周病変、歯根
破折や咬合性外傷、非歯原
性病変等の診断が重要でい
くつかの症例提示とわかり
やすい解説で明日からの診
療に有意義なセミナーでし
た。来年は実習付きのセミ
ナーも予定されているとい
うことなので楽しみにして
おります。
(高松市 石井浩之)

歯科スタッフ対象セミナー

歯科医院における スタンダードな予防対策を 実演



2020年10月1日(木)
15時~17時まで社会福祉総
合センター7階第二中会議
室において、「新型コロナウイルス
対策」今考える、歯科
医療での感染対策と取り組
みについての講習会があり
ました。本セミナーは、実
際の現場を担っておられる
歯科衛生士、歯科助手等を
主体として設定され院内感
染防止対策に係る職員研修
としての受講証が発行され
ました。講師は、香川県保
険医協会歯科理事三羽ガラ
スと詠われた、1.「コロナ感
染対策(概論)」綾坂則夫理
事、2.「診療ガイドラインの
解説」高徳修一理事、3.「院
内感染防止対策の解説及び
実習」三木武寛理事でした。
テキストに、①2020年
改定の要点と解説 ②歯科
外来における院内感染防止
対策が出席者全員に配布さ
れ、それをもとに説明があ
りました。

対策は、長丁場になると察
し改めて歯科医院における
対応策の説明がありました。
この感染症の出現によって、
それまで歯科医療が対象に
してきた血液を介した感染
経路の遮断以外にエアロゾ
ル対策までもが求められる
ようになりました。すでに
その対策は講じておられる
とは思いますが、それぞれ
の体制における予防対策を
もう一度、基本に立ち返っ
て検討を行いました。各業
種ごとに策定されている感
染拡大予防ガイドライン等
に基づき予防策が策定され
施行されておりませんが、歯
科医院におけるスタンダー
ドな予防体制または診療の
新しいスタイル等を再考し
ていただきました。新型コ
ロナ患者の診療を行う際
には、手袋、ガウン、キャップ、
サージカルマスク、フェイ
スシールド等の个人防护具
(PPE)を装着します。そ
れ以上に大事なことは、こ
れらを正しく装着すること
は感染予防で大切ですが、
それ以上に正しく外す(脱
ぐ)ことです。歯科治療にお
いては、診療に伴い口腔内
から大量の飛沫が発生しま
すので、これらのPPEだ
けでなく、口腔外バキュー
ムは必須と考えられます。
更に、換気を一時間に4~
6回程行います。手指衛生
は、「石鹸と流水による手洗
い」と「擦式アルコール製
剤」による手指消毒があり、

歯科セミナー

施設基準の届出のため 院内感染予防対策・外来環・歯援診・か強診・ 医療安全対策の研修セミナーを開催



20年10月4日(日)9時
半から12時半まで、社会福
祉総合センター一階コミュ
ニティホールにおいて施
設基準の届出並びに医療
法対策の研修会が開催され
ました。「院内感染予防対
策」「歯科外来診療体制加
算」「在宅療養支援歯科診
療所」「かかりつけ歯科医
機能強化型歯科診療所」の

届出や、「医療法」で義務づ
けられている医療安全の年
2回の研修(保健所の立入
検査時に必要)などに活用
できます。
今回は、ソーシャルディ
スタンスのため、歯科医師
限定のセミナーでした。講
師は、松本歯科大学教授小
笠原正先生(障害者歯科学
講座・病院特殊診療科・大学

院健康増進口腔科学講座)
ですが、コロナ禍の影響で
動画によるセミナーとな
りました。特に今回、院内
感染対策として「歯科治療
With Covid-19」
と題しての内容が新たに追
加されました。1.最近の状
況 2.概要(大きさ・感染機
序・症状・潜伏期間・感染力・
易感染性) 3.感染予防の難
しさ(潜伏期間が長い・無
症状者が存在・陰性確認手
段が少ない・発症二日前か
らウィルス排出・発症二日
前から濃厚接触者) 4.歯科
での対応(ソートニング・ス
タンドアードプリコーション・
換気・診療時の対応・感染状
況に留意)。正しく理解、正
しく恐れる、適切な対応が

必要です。
研修内容は、①緊急時の
対応 ②医療事故対策 ③高
齢者の心身の特性と口腔機
能管理 ④感染症対策等の
医療安全対策でした。
医療に安全はあるか?そ
も安全は存在しない。
常に存在するのはリスク。
リスクを的確に予測し、確
実に防止する努力が安全で
ある。安全とは、一人一人
が力を合わせて作り出すも
の。安全とは、不必要な害
のリスクを許容可能な最小
限の水準まで減らす行為。
大変緊張感のある、充実し
たセミナーでした。
(高松市 宮脇守男)

今年に入りコロナ禍は、
すでに半年を過ぎ、一旦小
康状態になったものの7月
となり新規発生者が出現し、
香川県下では「準感染警戒
期」と位置付けられました。
今後、新型コロナウイルスの感染

理事会だより

11月理事会

- ・協会組織、共済募集状況について報告があった。
- ・保団連「ストッパー患者負担増」署名の国会提出、「クイズで考える私たちの医療」はがきの取り組み状況が報告された。
- ・香川協会会員6～9月コロナ影響アンケート調査の結果が報告され対応を議論した。
- ・保団連歯科問題厚生労働省交渉(WEB参加)について報告があった。
- ・協会グループ共済の保険医共済会への移行完了について報告があった。
- ・四国厚生支局懇談について検討した。
- ・保団連研究部会、新聞部会(WEB開催)の報告があった。
- ・保団連代議員会について検討した。
- ・各部会等の日程を確認した。
- ・県での高校生まで窓口一部負担金無料化推進の取り組みについて報告があった。
- ・ホームページ、フェイスブックの閲覧状況について報告があった。
- ・協会事務所のWEB対応強化について検討した。
- ・諸会議、取り組みの日程等を確認した。
- ・協会会報編集について検討した。

協会活動日誌

- 11月
- 1日(日) 第16回保団連歯科全国交流集会(Web)(協会事務所)
- 7日(土) 医科歯科合同セミナー「歯科口腔外科における最新治療の実践」菅野貴浩先生(島根大学医学部歯科口腔外科学講座教授)
- 10日(火) 歯科臨床懇話会「マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎 A to Z」菅野貴浩先生(島根大学医学部歯科口腔外科学講座教授)他(ホテルパールガーデン)
- 12日(木) 歯科部会(協会事務所)
- 26日(木) 理事会(協会事務所)
- 28日(土) 歯科セミナー「スプリントの作り方・使い方」松香芳三先生(徳島大学大学院 顎機能咬合再建額分野 教授)(社会福祉総合センター)
- 29日(日) 第153回四国ブロック会議(Web)(協会事務所)
- 29日(日) 保団連共済制度運営委員会(Web)

あとがき

「クリスマスなんて無ければいつも通りの何にも変わらない夜なのに...」あるロックバンドが今年発表したクリスマスソングの一節である。そう、コロナウイルスなんて無ければいつも通りののにぎやかで楽しいクリスマスだったに違いない。たくさんのお会いがあっただろう。たくさんのお気遣いもあっただろう。たくさんのお返しも届いたと思う。来年こそは...！そんなささやかな願いを込めて「サイレント」な年の瀬を過ごそうと思う。(セ)

コロナ禍の特別な冬



さぬき市 阿部 正信

例年なら、何となくウキウキするクリスマス。年末年始も、コロナ禍で様変わりした。今年は、医院の忘年会もスタッフと相談して開催せずに、その分給料にプラスする事とした。仕事仲間や友人との会食も自粛だ。同窓会も計画していたが延期、正月休み

の家族旅行もなし、親戚が集まることも自粛、わかっではいるが、ストレスは溜まる一方だ。いったいいつになれば終息するのか、まだまだ分からないので余計に疲れる。たまに家族で美味しい物外食するのが唯一の楽しみだが、感染防止のため、個室か半個

室の店を選択する。医院では、受付にアクリル板を置き、診療時には、手袋は勿論の事、マスクと眼鏡やゴーグルの上に、顔全体をカバーするフェイスシールドが必須となった。真夏に眼鏡に汗が溜まるのは苦労したが、髪を短くして対策した。ただ、もつこの体制に慣れてしまったので、将来コロナが落ち着いても、フェイスシールドは必需品になるだろうと思っている。かつて、30

年前に開業した頃は、大病院も抜歯などの外科処置や、肝炎等の明らかな感染症の方以外は、ゴム手袋していなかった。それが、開業数年後からは、常に手袋着用するようになった。今から思うと手袋無しなど考えられない。フェイスシールドもわかり。感染予防で買ったけど、使わなかった物もあった。農業用の透明な腕抜きを使っている医院をTVで見ると、これは良いと思って慌てて購入したが、結局不評で使わなかった。ゴーグルも、皆各自に合ったものを採るのに試行錯誤し、

歯科臨床懇話会のご案内

マスターしたい口腔外科手術とインプラント治療のための基本/基礎 A to Z

日時：2021年1月6日(水) 20:00～21:20

講師：菅野 貴浩先生 (島根大学医学部歯科口腔外科学講座教授)

会場：マリンパレスさぬき (高松市福岡町2-3-4)

医科歯科合同セミナーのご案内

乳がんの最新医療

日時：2021年1月16日(土) 19:20～20:30

講師：紺谷 桂一先生 (香川大学医学部呼吸器・乳腺内分泌外科准教授)

会場：マリンパレスさぬき (高松市福岡町2-3-4)

歯科セミナーのご案内

若手歯科医師講演会

日時：2021年2月5日(金) 20:00～21:30

講師：竹内 一貴先生 (宇多津町開業)

会場：マリンパレスさぬき (高松市福岡町2-3-4)